

「愛知東邦大学」との地域創造研究所第 55 回定例研究会について

8 月 6 日（金）16:30 から大学間連携協定を結ぶ愛知東邦大学との地域創造研究所第 55 回定例研究会が、オンラインで開催されました。

『ウィズコロナ時代の観光地域づくり・人づくりを考える(2)』をテーマに、千葉経済大学短期大学部教員、キャリアコンサルタント 梶山 亮子氏による「外部リソースと連携した学生のキャリア形成支援について～アイデンティティ資本蓄積のためのプロアクティブ行動の促進～」および Kanameya-カナメヤ- 代表 松井 健斗氏（愛知東邦大学人間健康学部 2017 年卒業）による「産官学連携の強化による学生が持つ可能性の拡大化と地域づくり」の発表について、本学経済学部教員（西川 三恵子、堂野崎 融、貝掛 祥広、正田 淳一）がコメントを行いました。

愛知東邦大学地域創造研究所第 55 回定例研究会に参加することによって他大学等で実践されている授業や企画などについて知見を得ることで、本学における授業に関する教育内容および教育方法の改善についてディスカッションを通じて示唆を得ることができました。